デュフロン１００ファイン中塗　U

5-175RX4-00-01
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

□ 規　　格　　国土交通省　機械工事塗装要領（案）・同解説（令和3年2月版）　　日本ペイント規格
□ 一 般 名 称　　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗
□ 特　　長
・塗装作業性が良好です。
・塗料用シンナーで希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
・弱溶剤を使用しているため旧塗膜および素材を起こしたり、痛めることがほとんどありません。
・耐水性･耐薬品性にすぐれています。

□ 塗 料 性 状

		塗料液	硬化剤
色		白色	無色
密度(g/cm³)(23℃)		1.24（混合塗料）1.27（塗料液）1.00（硬化剤）	
光沢		半つや	
引火点		45℃	45℃
発火点		288℃（参考値）	288℃（参考値）
消防法表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料
	危険物区分	指定可燃物・液体	第4類 第2石油類(非水溶性)
	危険物等級	－（火気厳禁）	III（火気厳禁）
有機溶剤区分		第3種	第3種
毒劇物表示		－	－
有害物表示		－	ポリイソシアネート
国連／指針番号		1263/128	1866/128

環境性能					
ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ	配合せず	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	配合せず	ﾄﾙｴﾝ	配合せず
ｷｼﾚﾝ	0.6%	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	配合せず	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.2%
ｽﾁﾚﾝ(ﾓﾉﾏｰ)	0.2%	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ	配合せず	ﾃﾄﾗﾃﾞｶﾝ	配合せず
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	配合せず	ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ	配合せず	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	配合せず
ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞ	配合せず	鉛	配合せず		

T V O C	19.3%

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
・加熱残分（%）：６８（混合塗料）６８（塗料液）６９（硬化剤）

□ 塗 装 基 準
下 地 調 整：　・施主基準書に準じた下地調整を行ってください。
混　　合：　２液形のため、「塗料液：硬化剤＝9：1（重量比）」に混合し、十分にかくはんしてください。
荷　　姿：　16kgセット(塗料液:硬化剤=14.4kg:1.6kg)、4kgセット(塗料液:硬化剤=3.6kg:0.4kg)
ポットライフ：　6時間（23℃）
希 釈 剤：　塗料用ｼﾝﾅｰA、塗料用ｼﾝﾅｰSA
塗 装 方 法：

塗装方法	スプレー	はけ塗り
希釈率	0～10%	0～10%
使用量	0.22kg/㎡/回	0.18kg/㎡/回
膜厚（ドライ）	40μm	40μm
膜厚(ウェット)	95μm	95μm

・上記各数値は、施主基準書に準拠したものとなっており、被塗物の形状や気象条件等で各数値は増減することがあります。施主基準書に従って塗装してください。

エアレス条件：　・一次圧0.4～0.5MPa　二次圧12～15MPa　チップNo.163-615、617など
乾 燥 時 間：

	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
半硬化乾燥	3時間	2時間	1時間
塗り重ね乾燥	1日以上10日以内	1日以上10日以内	1日以上10日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
・塗り重ね乾燥時間は、施主基準書に定められた数値となっております。気象条件や被塗物の状態によって、その値に変動がありますので、塗膜状態を確認してから塗り重ねをするようにしてください。

□ 注 意 事 項

・下地調整など塗装基準の詳細については、各施主様の指針書をご参照願います。
・硬化剤は湿気で変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
・塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで目粗ししてから塗り重ねてください。
・2液弱溶剤反応形樹脂を使用しているため、希釈時、シンナーが浮いた状態になりますが、かくはんすると問題なく混ざります。
・塗料用シンナー以外(例えばエポキシシンナー等)での希釈は避けてください。

・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
・水･アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
・エアレス塗装は飛散防止措置を講じてください。
・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
・塗装間隔は厳守してください。
・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ピュアエポキシ･変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
・没水部などへの適用は避けてください。
・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
製品安全に関する詳細な内容は安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ（SDS）をご参照ください。

●本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.　※この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。